

赤十字だより

ぎふ

vol.
55

発行日
令和4年1月1日

編集・発行



日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市茜部中島2-9

TEL (058) 272-3561

<https://www.jrc.or.jp/chapter/gifu/>



赤十字の活動は、皆様からの活動資金によって支えられています。



岐阜県支部では、災害や紛争で苦しんでいる人々を救うため、国際活動に取り組んでいます。

①レバノン・シリア難民等水衛生管理支援事業

2011年以来続いているシリアでの紛争により、隣国レバノンに流れ込んだ避難民は、現在でも90万人以上にのぼります。劣悪な生活環境の中、特に給水や衛生面での改善が喫緊の課題となっているため、水衛生用品配布のほか、トイレや水飲み場の改修・整備により水衛生環境を改善しました。

②アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業

世界で起こる自然災害の4割以上が集中するといわれるアジア大洋州地域に対し、災害時に必要不可欠な給水・衛生分野での救援ニーズに対応するため、毎時700Lの飲料水を提供できる給水キットや簡易トイレ等資機材の整備のほか、地域の人々への衛生教育を行いました。2020年にバングラデシュ北部で発生した洪水に際しては、本事業で研修を受けた現地ボランティアが水の配布等救援活動を行い、被災者85,345人を支援しました。

③東アフリカ地域3カ国（ブルンジ、ルワンダ、タンザニア）地域保健強化事業

東アフリカは気候変動を原因とする洪水や干ばつなどの自然災害、内紛や政情不安による難民の発生や人口移動、エボラ出血熱をはじめとする感染症など様々な課題を抱えた地域です。日赤では感染症の予防対策を中心とした保健や防災の啓発を行っており、農村地域や社会的に弱い立場にある人々に対して、ラジオ放送や巡回宣伝車等により正しい情報や予防策（手洗いやソーシャルディスタンス）を伝え、行動変容に繋げました。

CONTENTS

■ 国際活動の報告	1	■ 赤十字施設の活動紹介	2
■ 赤十字講習会のご案内	3	■ 青少年赤十字作品コンクール	4
■ 青少年赤十字活動紹介	8	■ 義援金・救援金の受付状況	8

+ 大規模災害を想定した訓練を実施 高山赤十字病院

10月29日、飛騨地域に震度7の地震が発生したことを想定した机上による多数傷病者の受け入れ訓練を実施しました。

大規模災害が発生した際は多数の負傷者が病院に集中することが予想されるため、負傷者のトリアージや各患者対応エリアでの情報共有が重要になります。今回の訓練は、感染対策として院内スタッフの接触を減らすために、電力及びインターネット回線が使用可能という設定で実施しましたが、インターネット回線を利用し各エリアをつなぎだことで、リアルタイムで現場の状況を把握することが可能となりました。また、情報を伝える際に「録画機能を使用してみてはどうか」と改善意見が出るなど情報伝達のシミュレーションに役立つ訓練となりました。災害はいつ起こるか分かりません。病院を利用するすべての方に対し、緊急時でも安心できる医療体制づくりに取り組み、日々災害への対策を行っていきます。



+ もっと使いやすく！ホームページをリニューアル 岐阜赤十字病院

岐阜赤十字病院のホームページが、レイアウトを大幅に見直して、使いやすく！見やすく！なりました。

およそ10年前に岐阜赤十字病院を知っていただくため事業紹介など基本的な情報を中心にスタートしたホームページですが、ICTの普及が進んだ現在では、知りたい情報を具体的に知ることができ、さらにはスマートフォンなどのモバイル端末からでも見やすいものである必要があります。

そこで10月1日から『利用者に使いやすく、どのような端末でも見やすいホームページ』を心がけて制作した新ホームページにリニューアルしましたので、ぜひ一度ご覧ください。



+ 『はたちの献血』 キャンペーン 岐阜県赤十字血液センター

厚生労働省、都道府県及び日本赤十字社は、献血者が減少しがちな冬期において血液製剤の安定供給を確保するため、「はたちの献血」キャンペーンを令和4年1月1日から2月28日の2か月間実施します。

本キャンペーンは昭和50年から実施しており、期間中はポスター・インターネット、テレビCM等による広報を通じて、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く国民各層に向けて献血の重要性を普及啓発するとともに、献血への協力を呼びかけます。

10代～30代の若年層の献血者数は年々減少しており、このまま減少が進むと血液の安定供給に支障をきたす恐れがあります。

これからも患者さんに必要な血液を届けるために、献血のご協力をお願いします。



献血バス運行スケジュール



自身や家族、地域の方の健康のために 【赤十字講習会】



● 赤十字講習会のご案内 【令和4年1月～3月版】

講習の種類	開催日	会場
【救急法】救急法基礎講習	3月6日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
【健康生活支援講習】 支援員養成講習	2月17日(木)・18日(金)・24日(木) 2月21日(月)・22日(火)・28日(月)	高山赤十字病院 3階 小講堂 岐阜赤十字病院 南館2階 講堂
災害時高齢者生活支援講習（短期）	1月19日(水)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室
こころとこころの架け橋講習（短期）	1月20日(木)	日本赤十字社岐阜県支部 2階大会議室

※講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は、日本赤十字社岐阜県支部ホームページでご覧いただけます。

詳しい内容については、事業推進課までお問い合わせください。

口まわりの筋肉の衰えを感じていませんか。

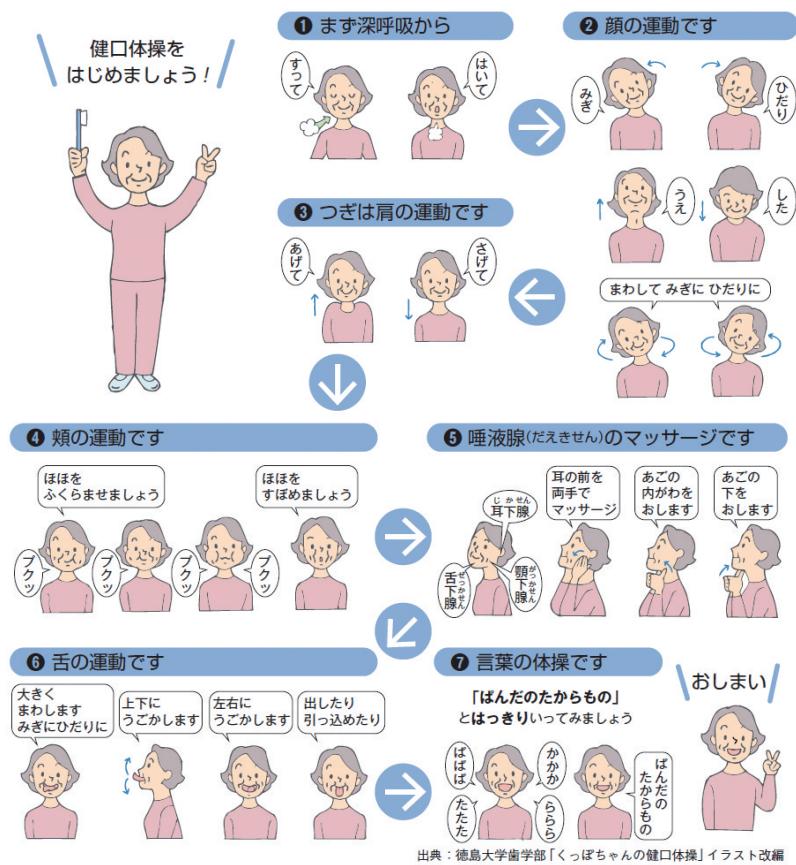
マスクの着用やお話しする機会が減り、お口を動かすことが減っていますか？

口のまわりの筋肉や顎や舌の動きが低下すると、咀嚼や嚥下などの口腔機能に支障をきたすことがあります。

誤嚥性肺炎を予防し、美味しく食事がとれるよう、意識をしてお口のまわりの筋肉を鍛えましょう！

※誤嚥性肺炎：唾液や食物、胃液などが気管に入り、その中に含まれた細菌が肺に入り込むことで起こる肺炎です。

赤十字健康生活支援講習テキストより抜粋



出典：徳島大学歯学部「くっちゃんの健団体操」イラスト改編

+ 災害に備え、炊出しリーダーを養成！

令和3年11月28日（日）、日本赤十字社岐阜県支部において、炊き出し指導員養成講習会を開催しました。

この講習会は、災害時にリーダーシップが発揮できるボランティアを養成することを目的に、特に非常食に関する知識や、各地域で炊き出し訓練を企画・指導できるスキルを習得いただくために実施しました。

参加された6名の方は、災害への備えと非常食についての講義を受け、その上で当支部が県内に配備している非常用炊飯器の取り扱いや、非常用炊飯袋（ハイゼックス）での炊き出し方法、炊き出し研修会の企画・指導方法を学び、模擬講習を行うなど、地域に伝えられるよう積極的に取り組みました。



2022年は青少年赤十字創設100周年



青少年赤十字が誕生したきっかけは、第一次世界大戦時のカナダ、アメリカ、オーストラリア、イタリアの児童・生徒が行った救護材料の製作補助などの赤十字事業支援活動です。その後、国際赤十字が活動の場を戦時から平時に拡大する中で、1922年、第2回赤十字社連盟総会において青少年赤十字の創設が決議されました。

日本でも、1922年（大正11年）に青少年赤十字活動が始まりました。

※8ページに県内加盟校の活動の一部を紹介しています。

令和3年度青少年赤十字作品コンクール

岐阜県内の青少年赤十字に加盟している655校（園）の子どもたちから、夏休みに制作した青少年赤十字に関連する書道作品と絵画作品を募集しました。

今年は、書の部1,598点、絵画の部116点の応募をいただきました。

全ての受賞作品をホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。



青少年赤十字作品コンクール 絵画の部 入賞作品



瑞穂市立穂積小学校 5年 渡邊 心結



神戸町立南平野小学校 6年 中村 つむぎ



岐阜市立厚見小学校 1年 武山 青生



大垣市立赤坂小学校 3年 渡部 美響



岐阜県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞



神戸町立南平野小学校 6年 野村 嶺煌



岐阜県赤十字有功会会長賞



養老町立上多度小学校 4年 丹羽 楓佳



日本赤十字社岐阜県支部事務局長賞



大垣市立南小学校 2年 川久保 萌々愛



高山赤十字病院院長賞



高山市立東小学校 4年 矢筈原 綺乃



岐阜県赤十字血液センター所長賞



関市立緑ヶ丘中学校 3年 後藤 柚和



岐阜赤十字病院院長賞



海津市立石津小学校 3年 田中 未来

— 絵画の部 優秀賞 —

美鳩幼稚園	年長	小瀬 巴菜
岐阜県立大垣特別支援学校	2年	長柄 琳久
垂井町立岩手小学校	3年	栗田 朱莉
安八町立結小学校	4年	石子 結衣
大垣市立赤坂小学校	5年	原 志織

神戸町立南平野小学校	1年	野村 理蘭
海津市立石津小学校	2年	伊藤 純麗
大垣市立牧田小学校	4年	日比野 椿花
大垣市立牧田小学校	5年	鹿野 朝日
安八町立結小学校	5年	牧野 月香



生命の尊重

岐阜市立岐阜中央中学校
2年 杉村 蓮里



世界の平和

岐阜市立島中学校
3年 渡辺 一恵



人道

揖斐川町立大和小学校
5年 横井 俊太



実践目標

関市立小金田中学校
1年 松山 芽以



実践目標

安八町立登龍中学校
3年 浅野 紫音



公平

岐阜大学教育学部附属小中学校
4年 川畑 美遙



国際親善

岐阜県立大垣桜高等学校
1年 西川 陽菜



災害救助

岐阜市立岐阜中央中学校
2年 石川 詩子



予防接種

岐阜市立草津中学校
3年 正村 琴音



実行

美濃加茂市立古井小学校
4年 加賀 陽大



日本赤十字社岐阜県支部事務局長賞

救助

北方町立北方南小学校
5年 浅野 太杜



高山赤十字病院院長賞

感染予防

高山市立日枝中学校
3年 池上 空



岐阜赤十字病院院長賞

博愛

大垣市立興文小学校
6年 百生 小春



高山赤十字病院院長賞

人道の精神

下呂市立萩原南中学校
3年 中村 聰里



岐阜赤十字病院院長賞

尊生命

多治見市立南姫中学校
2年 伊東 なごみ



岐阜県赤十字血液センター所長賞

献血活動

高山西高等学校
1年 美素 富稀



岐阜県赤十字血液センター所長賞

運動献血

大垣市立赤坂中学校
3年 坪井 利穂

一書の部 優秀賞一

岐阜市立長森東小学校	4年	鶴田	さくら
岐阜市立岩野田北小学校	4年	杉山	柚結
瑞穂市立穂積小学校	4年	廣瀬	壬さき
大垣市立興文小学校	4年	百生	伊吹
大垣市立西小学校	4年	山岸	未歩菜
海津市立石津小学校	4年	岩田	玲奈
池田町立池田小学校	4年	井上	碧桜
大野町立西小学校	4年	加納	悠汰
閔市立倉知小学校	4年	近江	穂乃花
瑞浪市立明世小学校	4年	今井	汐織
下呂市立宮田小学校	4年	谷下	珀
各務原市立稻羽東小学校	5年	松谷	紗羽
各務原市立那加第三小学校	5年	板津	未奈
瑞穂市立南小学校	5年	服部	くるみ
大垣市立赤坂小学校	5年	坪井	勇翔
輪之内町立仁木小学校	5年	近藤	茉依
安八町立結小学校	5年	水谷	優芽花
揖斐川町立谷汲小学校	5年	植山	あおい

高山市立清見小学校	5年	野中	正宗
岐阜市立島小学校	6年	河村	姫里
瑞穂市立南小学校	6年	柴山	結衣
神戸町立南平野小学校	6年	上谷	紗菜
養基組合立養基小学校	6年	澤	里咲
可児市立今渡北小学校	6年	田原	柚葵
美濃加茂市立古井小学校	6年	堤	羽菜
多治見市立養正小学校	6年	加藤	彩
瑞浪市立明世小学校	6年	小畠	綾乃
岐阜聖徳学園大学附属小学校	6年	閑戸	理伊
岐阜県立岐阜薬学校	6年	中村	咲月
岐阜県立大垣特別支援学校	6年	林	秀暉
岐阜市立岐阜清流中学校	1年	河村	梨来
大垣市立南中学校	1年	森	彩葉
大垣市立江並中学校	1年	中村	匠
関市立富野中学校	1年	大野	真央
郡上市立八幡中学校	1年	細川	未來
七宗町立上麻生中学校	1年	松山	祐俐
多治見市立陶都中学校	1年	木戸口	奏

聖マリア女学院中学校	1年	田中	志歩
岐阜市立岐北中学校	2年	高橋	遼成
岐阜市立島中学校	2年	渡邊	心陽
大垣市立興文中学校	2年	服部	茉桜
大垣市立東中学校	2年	山下	舞
安八町立登龍中学校	2年	山北	杏
垂井町立不破中学校	2年	勝	有萌果
岐阜大学教育学部附属中学校	9年	草野	そよか
各務原市立緑陽中学校	3年	三好	怜奈
各務原市立鵜沼中学校	3年	早川	拓輝
羽島市立羽島中学校	3年	今井田	知奈
大垣市立西部中学校	3年	片岡	雛乃
大垣市立東中学校	3年	荒川	夏帆
垂井町立北中学校	3年	松山	香菜子
輪之内町立輪之内中学校	3年	小林	彩那
川辺町立川辺中学校	3年	牧田	久遠
高山市立宮中学校	3年	野原	林
岐阜聖徳学園高等学校	2年	青良	

青少年赤十字活動紹介

～2022年は青少年赤十字創設100周年～



岐阜県では、県内にある幼稚園・保育園、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校661校（園）が青少年赤十字の活動に参加しています。（小・中・特別支援学校は全校加盟です。）
加盟校の活動の一部を紹介します。

【東白川村立東白川中学校】『SDGsに貢献する東濃ひのき』村の伝統産業を学ぶ

地元の林業関係者から、森林は気候変動を緩和するほか崖崩れなどの災害を防止し持続可能な社会に貢献していることや、日本は世界有数の森林大国でありながら木材の自給率が低いこと、後継者不足であることなど森林という循環型資源を支える林業が抱える問題を学びました。また、端材を使ったコースター作りをとおして、地域の特産品である東濃ひのきの持つ木目の美しさなどの魅力を感じました。



【高山市立柄尾小学校】京都大学防災研究所と防災教育

柄尾小学校では、過去に校区で起きた大規模な土石流災害を教訓に、京都大学防災研究所（以下京都大学）から雨量観測システムなどの機材の提供を受け、毎年4年生の児童が、毎日の雨や空・山の観察を行うことで、雨に対する感覚を養い、雨の危険を知る活動に取り組んでいます。

本活動は、今年で6年目となり、児童から家族、地域へと気象に関心を持ち、詳しくなる人が広がることで、地域の防災力向上につながっているほか、児童が毎日記録する情報は、京都大学の研究にも役立てられています。



● 義援金・救援金の受付状況【令和3年11月30日現在】

義援金・救援金名	受付期間	受付金額（円）
平成30年7月豪雨災害義援金	平成30年7月10日～令和4年6月30日	22,917,515
令和2年7月豪雨災害義援金	令和2年7月7日～令和4年3月31日	5,147,147
令和3年7月大雨災害義援金	令和3年7月9日～令和3年12月28日	1,474,338
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	令和3年8月18日～令和3年12月28日	85,210
令和3年8月大雨災害義援金	令和3年8月23日～令和4年3月31日	811,837
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	令和3年9月14日～令和4年3月31日	52,626
中東人道危機救援金	平成27年4月1日～令和4年3月31日	188,937
バングラデシュ南部避難民救援金	平成29年9月22日～令和4年3月31日	201,150
2021年ハイチ地震救援金	令和3年8月18日～令和3年11月30日 ※終了	15,092
アフガニスタン人道危機救援金	令和3年9月22日～令和4年3月31日	5,000

12月1日から25日の間実施しました『NHK海外たすけあいキャンペーン』には、多くの皆さまからのご協力をいただきありがとうございました。皆さまからのご寄付は、世界各地で紛争、災害、病気などにより苦しんでいる人びとを支援する活動に使わせていただきます。